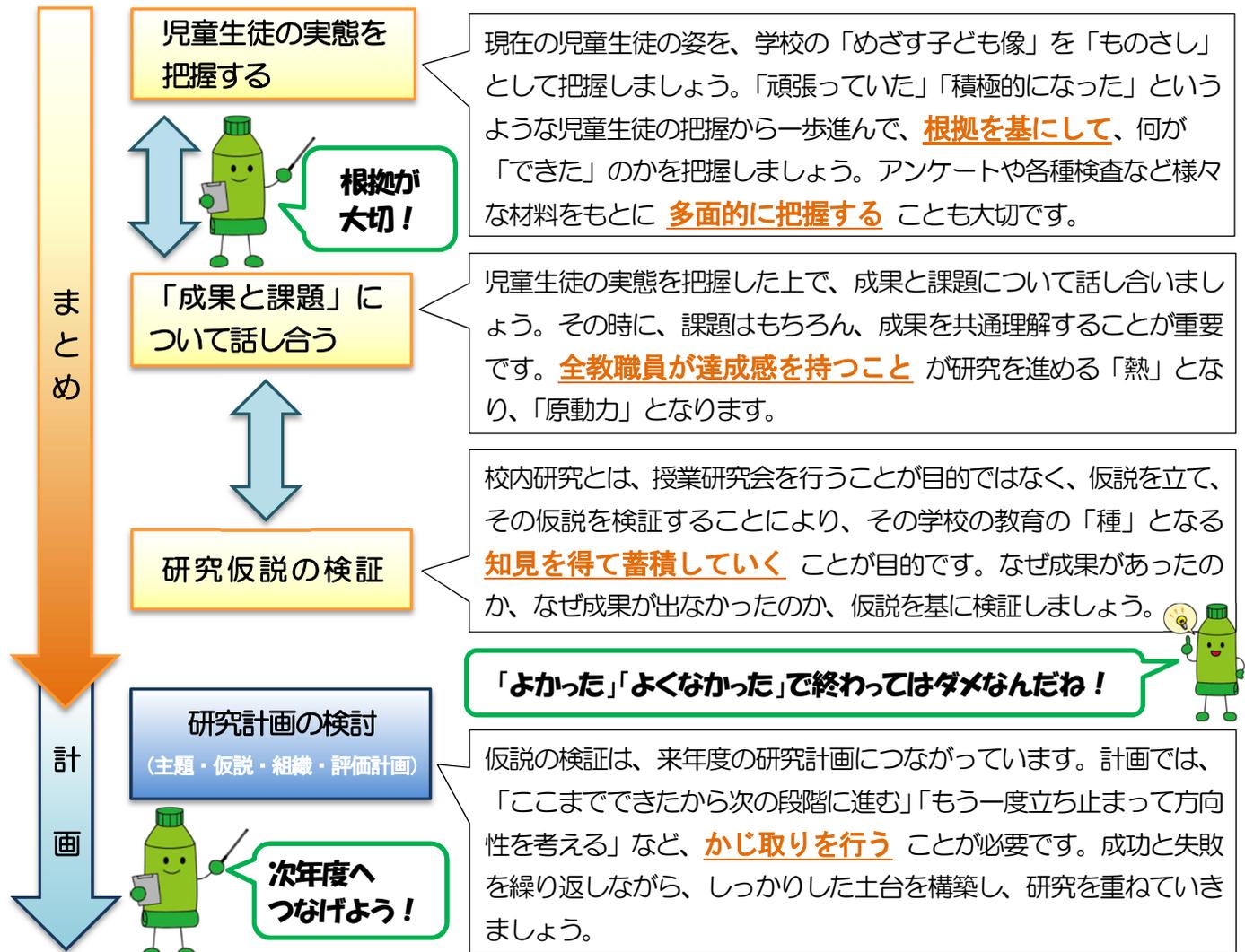




確かな学力の向上をめざして【3月】

■校内研究のさらなる充実に向けて ～来年度へ「つなげる」ために～

3学期は校内研究の「**まとめ**」と来年度の「**計画**」を立てる時期です。今年度の成果を来年度につなげたり、課題を共有して研究を深化させたりするためには、今年度中に成果と課題を明らかにするとともに、課題解決のための手立て、研究成果を見取る方法を具体的に決めておく必要があります。4月から学校全体で同じ方向を向いて取り組めるよう準備しましょう。



新学期



校内研究の成果を「何で見取るか」共通理解できていますか？

各校の研究推進計画には、「〇〇すれば、自ら学ぶ力を付けることができるだろう」、「〇〇すれば、伝え合う力が育つだろう」などの研究仮説が示されています。では、その「学ぶ力」や「伝え合う力」が育ったかどうか、つまり、仮説が正しかったか否かを、どのようにして判断するのでしょうか。研究で最も大切なのは「見取る方法」です。

「何で」見取るのかを年度当初に全職員で納得の上、設定すること が大切です。成果を子どもの具体的な姿で捉えたり、数値で捉えたりできるような仮説を設定し、全職員で毎日取り組むことができる研究にしましょう。